5）人　工　数

表4.3　人　工　数　　（1日当たり）

名　　称	単　位	基　礎　栗　石　工		裏　込　栗　石　工	
		敷 均 し	敷 並 べ	かき込み	築 立 て
世　話　役	人	0.7	0.9	0.7	－
特 殊 作 業 員	〃	1.2	1.2	1.3	－
普 通 作 業 員	〃	3.4	3.1	3.3	6.7

6）日当たり施工量

表4.4　日当たり施工量　　（1日当たり）

工　種　名		単　位	日当たり施工量
基礎栗石工	敷　均　し	m2	161
	敷　並　べ	m2	100
裏込栗石工	か　き　込　み	m3	31
	築　立　て	m3	10

備考1　上表には、20m程度の小運搬を含む。
　　2　護岸工の裏込栗石工において、護岸平場は基礎栗石工の工種とする。
　　3　現場発生材を小割して使用する場合は、小割・選別歩掛を別途計上する。
　　4　基礎栗石工の敷均し及び敷並べ厚は、30cmまでを対象とする。

7）諸　雑　費

諸雑費は、つき固め機械等の賃料及び燃料の費用であり、労務費、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

表4.5　諸雑費率　　（%）

諸 雑 費 率	基礎栗石工		裏込栗石工	
	敷 均 し	敷 並 べ	かき込み	築 立 て
	0.6			0.7

8）機械運転単価表

（1日当たり）

適用機械工歩掛		02－06－030	02－06－010	02－06－020
名　　称	単　位	排出ガス対策型・クローラ型　山積0.8m3（平積0.6m3）		
		基　礎　栗　石　工		裏込栗石工
		敷 均 し	敷 並 べ	かき込み
運転手（特殊）	人	1.00	0.58	0.90
軽　　油	ℓ	~~72~~69	~~41~~39	~~65~~61
機　械　賃　料	供用日	1.00	0.79	1.00

06－02　コンクリートブロック積（張）工

１）土木工事標準単価を使用する場合

勾配が1割未満（1:1.0未満）の法面に施工するブロック積みで、JISタイプ（JISで規定する形状・寸法）の積ブロック（間知・ブロック質量150kg/個未満）を使用する場合。

２）施工パッケージ型積算方式による場合

間知ブロックの積工（勾配1割未満、ブロック重量150kg/個以上450kg/個以下）の場合

06－02－100　コンクリートブロック積（張）工（SPX039～SPX044、SPMF01）

「20　施工パッケージ　No.36　間知ブロック積、No.37　大型ブロック積、No.~~38~~39　間知ブロック張、No.~~39~~40　平ブロック張、No.~~40~~41　連節ブロック張、No.~~41~~42　緑化ブロック積」による

06－02－200　胴込・裏込コンクリート打設（SPX047、SPMF02）

「20　施工パッケージ　No.~~44~~45　胴込・裏込コンクリート」による。

06－02－300　胴込・裏込材投入（SPX048、SPMF03）

「20　施工パッケージ　No.~~45~~46　胴込・裏込材（砕石）」による。

06－02－400　遮水シート張工（SPX049）

「20　施工パッケージ　No.~~46~~47　遮水シート張」による。

06－02－500　吸出し防止材（全面）設置（SPX050、SPMF04）

「20　施工パッケージ　No.~~47~~48　吸出し防止材（全面）設置」による。

06－02－600　客土投入（SPX044）

「20　施工パッケージ　No.~~41~~42　緑化ブロック積」による。

06－02－700　コンクリート打設（SPX052、SPX053）

「20　施工パッケージ　No.~~49~~50　現場打基礎コンクリート」による。

06－02－800　植樹工（SQ0601）

「20　施工パッケージ　No.~~48~~49　植樹」による。

３）治山林道必携【積算・施工編】（林野庁参考歩掛）による場合

治山事業（渓間工含む）における間知ブロックの積工（勾配１割未満、ブロック質量150kg/個未満）の場合林野庁「治山林道必携（積算・施工編）」８森林整備保全事業標準歩掛第２編治山第３山腹工３－１７（参考歩掛）コンクリートブロック積工」による。

06－06　鉄線篭工

06－06－200　じゃかご工（SPX126、SPX128、SPM201、SPM202）

1　適用範囲

20　施工パッケージ　No.~~134~~130　じゃかご、No.~~136~~132　止杭打込」による。治山事業におけるじゃかご工は、下記歩掛を適用すること。

2　施工概要

施工フローは、次図を標準とする。

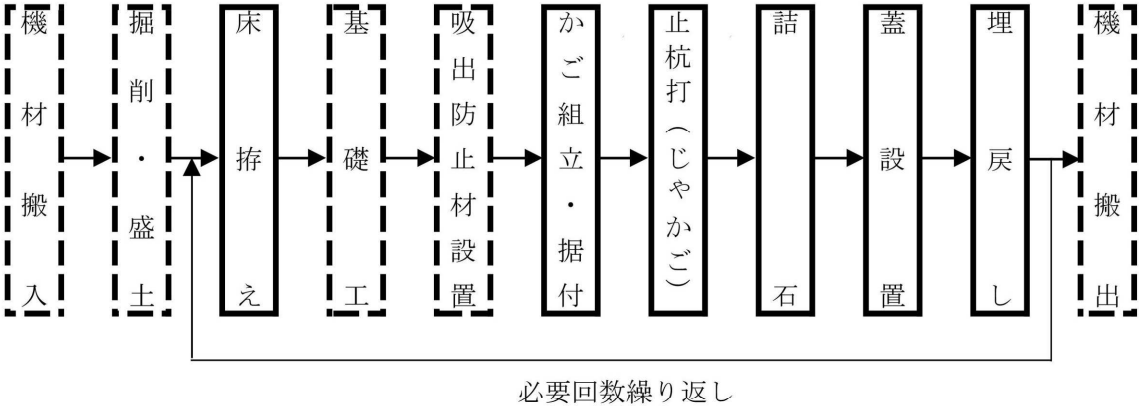


図2.1　施工フロー

備考　本歩掛で対応しているのは実線部分のみである。

3　機種の選定

機種、規格は次表を標準とする。

表3.1　機種の選定

機　　種	規　　格	台数	摘　　要
バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第３次基準値） 山積0.5m3（平積0.4m3）	1	

4　施工歩掛

じゃかご工の施工歩掛は次表とする。

表4.1　じゃかご工施工歩掛

（10m当たり）

名　　称	規　　格	単　位	じゃかご径(cm)		摘　　要
			45	60	
詰　　石		m3	1.5	2.7	
世　話　役		人	0.2	0.3	
特殊作業員		〃	0.7	1.3	
普通作業員		〃	0.7	1.2	
バックホウ（クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第３次基準値）　山積0.5m3（平積0.4m3）	h	0.2	0.4	

備考１　本歩掛は、床拵え、かご組立・据付け、止打杭、詰石、埋戻し及び平均小運搬距離30mまでの小運搬を含む。ただし、平均小運搬距離が30mを超える場合は、運搬工を別途計上する。

２　詰石量は、（式1）にて補正済の数量である。

３　運搬機械が上表により難い場合は、別途考慮する。

４　止杭を必要とする場合は、打込費として止杭１本当たり普通作業員0.06人及び材料費を別途計上すること。なお、止杭は松丸太末口９cm、長さ1.5mを標準とする。

５　吸出防止材等が必要な場合は別途考慮し、吸出防止材の厚さ10mmは標準とする。なお、本歩掛に吸出防止材の設置手間は含まれていない。

6　φ3.2mmは仮設工事に、φ4.0mmは本工事用に使用することを標準とする。
7　じゃかごの撤去歩掛は、上表の50％とする。

5　材料使用量

詰石材、吸出防止材の使用量は次式による。

詰石材の使用量（m3）＝かご容積（m3）×（１×Ｋ）……（式１）

吸出防止材の使用量（m2）＝設置数量（m2）×（１×Ｋ）……（式２）

Ｋ：補正係数

表5.1　補正係数（K）

種　　別	詰　石　材	吸出防止材
補　正　係　数	－0.05	＋0.07

06－06－300　ふとんかごエ（SPX127、SPM201）

1　適用範囲

「20　施工パッケージ　No.~~135~~131　ふとんかご」による。治山事業におけるふとんかご工は、下記歩掛を適用すること。

2　施工概要

施工フローは、次図を標準とする。

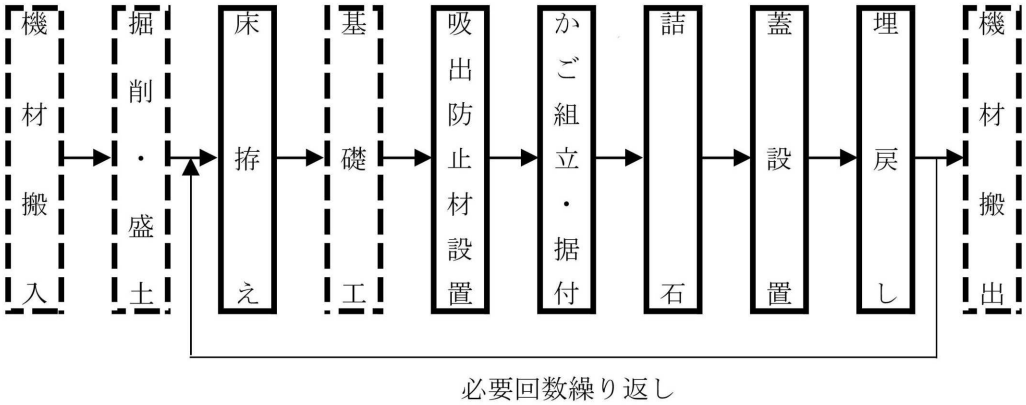


図2.1　施工フロー

備考　本歩掛で対応しているのは実線部分のみである。

3　機種の選定

機種、規格は次表を標準とする。

表3.1　機種の選定

機　　種	規　　格	台数	摘　　要
バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第３次基準値） 山積0.5m3（平積0.4m3）	1	

4　施工歩掛

ふとんかご工の施工歩掛は、次表とする。

06－16　落石防止柵設置工

06－16－100　落石防止柵設置工（SQ0603）

表1.1　落石防護柵設置歩掛

（10m当たり）

名　　称	内　　容	ＳＧ－Ａ	ＳＧ－Ｂ	ＳＧ－Ｃ	ＳＧ－Ｄ
普通作業員	支柱建込・エキスパンド取付組立 ・ボルト締付	3.3人	2.7人	2.2人	1.5人
計					

備考１　本表には、20m程度の材料小運搬を含む。
　　２　鋼材部の取りこわしは、本表の0.5掛とする。

~~06－17　簡易鋼製土留工~~

~~06－17－100　簡易鋼製土留工大力施工~~

~~（1）ＧＷタイプ~~

~~表1.1　簡易鋼製土留（ＧＷタイプ・大力施工）施工歩掛~~

~~（10m2当たり）~~

~~区分~~	~~型式~~ / ~~名称~~	~~内容~~	~~単位~~	~~寸法（mm）高さ×幅×奥行~~		
				~~ＧＷ06~~	~~ＧＷ09~~	~~ＧＷ12~~
				~~500×1000×600~~	~~500×1000×900~~	~~500×1000×1200~~
~~擁壁部~~	~~世話役~~		~~人~~	~~0.05~~	~~0.05~~	~~0.05~~
	~~普通作業員~~	~~組立・小運搬~~	~~〃~~	~~1.03~~	~~1.23~~	~~1.43~~
	~~〃~~	~~中詰~~	~~〃~~	~~1.08~~	~~1.62~~	~~2.16~~
	~~ダンプ運転~~	~~つき固め~~	~~日~~	~~0.16~~	~~0.24~~	~~0.32~~
~~基礎部~~	~~世話役~~		~~人~~	~~0.10~~	~~0.10~~	~~0.10~~
	~~普通作業員~~	~~組立・小運搬~~	~~〃~~	~~1.36~~	~~1.56~~	~~1.66~~
	~~〃~~	~~中詰~~	~~〃~~	~~1.08~~	~~1.62~~	~~2.16~~
	~~ダンプ運転~~	~~つき固め~~	~~日~~	~~0.16~~	~~0.24~~	~~0.32~~

~~備考１　本表は、20m程度の材料小運搬を含む。~~
~~　　２　基礎部とは、地出に埋め込む最下段（１段目）の部分である。~~
~~　　３　中詰めには、詰め込み及び掻き均し等一切を含む。~~
~~　　４　取りこわしは、本表の0.7掛とする。~~

~~06－17－200　簡易鋼製土留工機械施工~~

~~(1) GWタイプ~~

~~表1.1　簡易鋼製土留（GWタイプ・機械施工）施工歩掛~~

~~（10m2当たり）~~

~~区分~~	~~型式~~ / ~~名称~~	~~内容~~	~~単位~~	~~寸法（mm）高さ×幅×奥行~~		
				~~GW06~~	~~GW09~~	~~GW12~~
				~~500×1000×600~~	~~500×1000×900~~	~~500×1000×1200~~
~~擁壁部~~	~~世話役~~		~~人~~	~~0.05~~	~~0.05~~	~~0.05~~
	~~普通作業員~~	~~組立・小運搬~~	~~〃~~	~~1.03~~	~~1.23~~	~~1.43~~
	~~〃~~	~~掻き均し~~	~~〃~~	~~0.34~~	~~0.51~~	~~0.68~~
	~~バックホウ運転~~	~~出積0.45m3（平積0.35m3）~~	~~時間~~	~~0.26~~	~~0.39~~	~~0.52~~
		~~出積0.8m3（平積0.6m3）~~	~~時間~~	~~0.15~~	~~0.23~~	~~0.30~~
	~~ダンパ運転~~	~~つき固め~~	~~日~~	~~0.16~~	~~0.24~~	~~0.32~~
~~基礎部~~	~~世話役~~		~~人~~	~~0.10~~	~~0.10~~	~~0.10~~
	~~普通作業員~~	~~組立・小運搬~~	~~〃~~	~~1.36~~	~~1.56~~	~~1.66~~
	~~〃~~	~~掻き均し~~	~~〃~~	~~0.34~~	~~0.51~~	~~0.68~~
	~~バックホウ運転~~	~~出積0.45m3（平積0.35m3）~~	~~時間~~	~~0.26~~	~~0.39~~	~~0.52~~
		~~出積0.8m3（平積0.6m3）~~	~~時間~~	~~0.15~~	~~0.23~~	~~0.30~~
	~~ダンパ運転~~	~~つき固め~~	~~日~~	~~0.16~~	~~0.24~~	~~0.32~~

~~備考1　本表は、20m程度の材料小運搬を含む。~~

~~2　基礎部とは、地山に埋め込む最下段（1段目）の部分である。~~

~~3　中詰めには、詰め込み及び掻き均し等一切を含む。~~

~~4　取りこわしは、本表の0.7掛とする。~~

06－18　避難階段組立

06－18－100　鋼製階段（SQ0643）

表1.1　鋼製階段設置歩掛

（1ｔ当たり）

名称	規格	単位	数量
鋼製階段		t	1.00
世話役		人	0.14
普通作業員		〃	1.60
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9ｔ吊	時間	0.10
計			

備考　本表には、床掘・埋戻し・基礎コンクリート等は含まない。

06－18－200　木製ステップ（SQ0644）

表1.1　木製ステップ設置歩掛

（10m当たり）

名称	規格	単位	数量
木製ステップ	50cm×５m	m	10.00
世話役		人	0.05
普通作業員		〃	0.42
計			

備考１　木製ステップには、止めピン・ロープ等一切を含む。

２　本表には、20m程度の材料小運搬を含む。

06－19　ゲート設置

06－19－100　ゲート設置（SQ0604）

表1.1　ゲート設置歩掛

（１基当たり）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量
ゲ　　ー　　ト		基	1.00
世　　話　　役		人	0.14
普　通　作　業　員		〃	1.00
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9ｔ吊	時間	0.10
計			

備考　本表には、床掘・埋戻し・基礎コンクリート等は含まない。

06－20　Ｌ型プレキャスト擁壁設置工（SPX067）

「20　施工パッケージ　No.~~76~~77　プレキャスト擁壁設置」による。

06－21　補強土壁工・ジオテキスタイル工

06－21－100　補強土壁工（SPX301、SPX303、SPX305）

「20　施工パッケージ　No.~~77~~78　補強土壁壁面材組立・設置、No.~~79~~80 補強材取付（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）、No.~~81~~82 補強材取付（ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)）、No.~~83~~84 まき出し・敷均し，締固め」による。

06－21－900　ジオテキスタイル工（SPX068、SPX069、SPX070）

「20　施工パッケージ　No.~~85~~86　ジオテキスタイル壁面材組立・設置、No.~~87~~88 ジオテキスタイル敷設、No.~~88~~89 まき出し・敷均し，締固め」による。

07　管　渠　工

07－01　管類布設

07－01－100　遠心力管設置

「20　施工パッケージ　No.~~9091~~　ヒューム管（Ｂ形管）」による。

07－01－150　遠心力管用プレキャスト基礎設置（SQ0720）

１　適用範囲

遠心力管用プレキャスト基礎の据付作業に適用する。
適用管径（内径）は、600mmとする。
結合方法は、ポリエチレン製発泡シートを標準とする。

２　施工概要

標準施工フローは、下記のとおりとする。

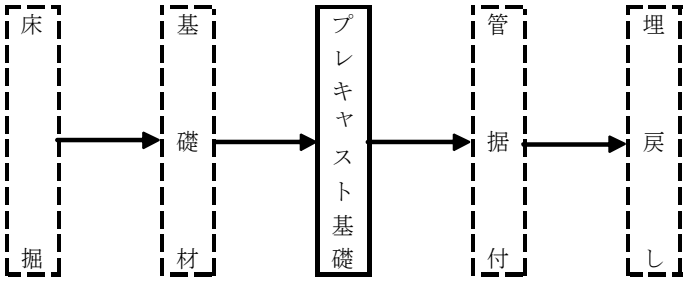


図2.1　遠心力管用プレキャスト基礎設置フロー

備考　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

３　機種の選定

a　使用する機械の機種はトラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9ｔ吊とする。
b　現場条件により別途考慮する。
c　トラッククレーンは賃料とする。

４　施工歩掛

表4.1　遠心力管用プレキャスト基礎設置歩掛

（10m当たり）

内　径（mm）	基礎形式	世　話　役（人）	特殊作業員（人）	普通作業員（人）	ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ（油圧伸縮ジブ型）賃料（日）		諸雑費（%）
600	（ 90°）	0.15	0.15	0.43	0.20	4.9ｔ吊	2.0
	（180°）	0.16	0.16	0.45	0.21		
	（360°）	0.17	0.17	0.47	0.22		

備考１　本表は、運搬距離30m程度までの小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎、埋戻しは含まない。
２　撤去歩掛は据付歩掛の50%とする。（再使用する場合）
３　トラッククレーンは賃料とする。
４　諸雑費は、敷モルタル材料費等の費用であり、労務費及びトラッククレーン賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

07－01－200　鉄筋コンクリート管（１種管）設置（SQ0701）

１　適用範囲

本歩掛は、プレキャスト製品による鉄筋コンクリート管（１種管）の据付作業に適用する。
適用管径（内径）は、250～1,000mm（１種管）とする。
接合方法は、ゴムリングによる接合を標準とする。

２　施工概要

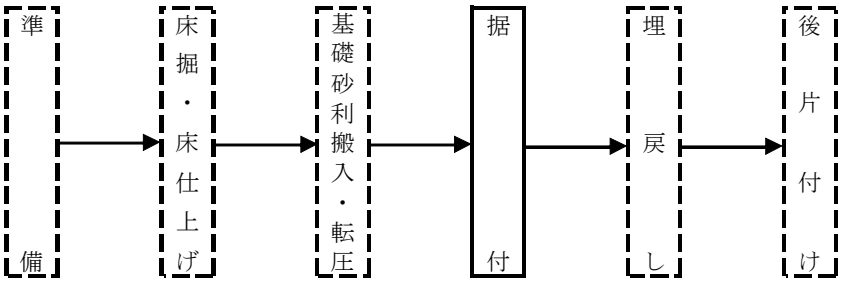


図2.1　鉄筋コンクリート管（１種管）設置フロー

備考　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

３　機種の選定

使用する機械の機種・規格は、次表とする。

表3.1　機種の選定

規格区分	据付方法	使用機械	
		機械名	規格
内径φ250mm	人力	－	－
内径φ300～1,000mm	機械	バックホウ（クレーン機能付）	クローラ型 標準型 排出ガス対策型（第２次基準値） 山積0.45m3（平積0.35m3）2.9ｔ吊

備考１　現場条件により、上表により難い場合は別途考慮する。
　　２　バックホウ（クレーン仕様）は「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠する機械である。

４　施工歩掛

表4.1　鉄筋コンクリート管（１種管）設置歩掛

（10m当たり）

名称	規格	単位	管径（mm）					
			φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	φ500
世話役		人	0.15	0.07	0.09	0.10	0.12	0.14
特殊作業員		〃	0.26	0.21	0.26	0.31	0.37	0.42
普通作業員		〃	0.32	0.08	0.10	0.12	0.14	0.17
ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾚｰﾝ機能付）運転	表3.1	h	－	1.18	1.43	1.68	1.93	2.18
諸雑費率		%	7	28	23	22	19	18
			φ600	φ700	φ800	φ900	φ1000	
世話役		人	0.17	0.20	0.23	0.26	0.29	
特殊作業員		〃	0.52	0.60	0.69	0.78	0.87	
普通作業員		〃	0.21	0.24	0.28	0.31	0.35	
ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾚｰﾝ機能付）運転	表3.1	h	2.68	3.12	3.59	4.01	4.52	
諸雑費率		%	16	14	12	10	9	

備考１　本表は、小運搬を含む作業であり、床掘、基礎、巻きコンクリート、埋戻、水替等は含まない。
　　２　バックホウは損料とし、規格は表3.1による。
　　３　諸雑費は、ワイヤロープ、レバーブロック、コンクリートカッタ運転の費用であり、労務費の合計額に上表

の率を乗じた金額を計上する。

4　撤去歩掛は据付歩掛の50％とする。（再使用する場合）

5　接合にゴムリングを使用する場合は、上表にその設置費を含むが、材料費は含まないため別途計上すること。

6　10ｍ当たり管の使用本数は、φ250～600までが10本、φ700～1,000までが５本とする。

07－01－300　鉄筋コンクリート台付管設置

「20　施工パッケージ　No.~~97~~98　鉄筋コンクリート台付管」による。なお、鉄筋コンクリート高圧管にも適用するものとする。

~~07－01－500　コア式プレストレストコンクリート管設置（参考）~~

~~「20　施工パッケージ　No.100　ＰＣ管」による。~~

~~１　適用範囲~~

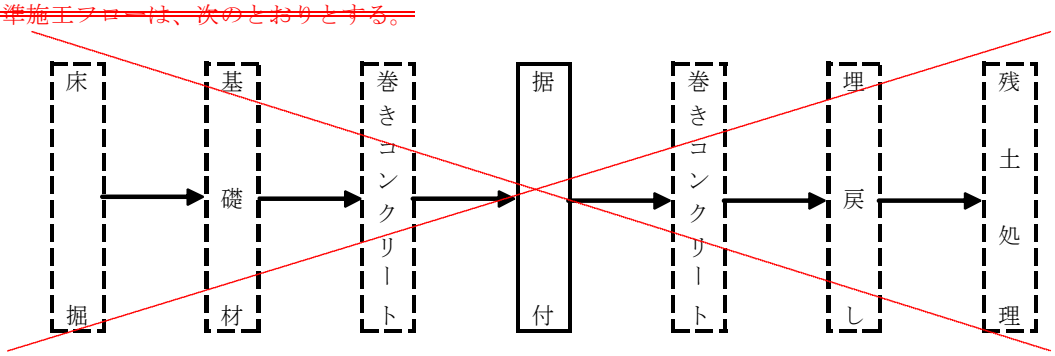
~~本歩掛は、コア式プレストレストコンクリート管（外圧管１種・２種・３種管）の据付作業に適用する。~~

~~適用管径（内径）は、500～2,000mmとする。~~

~~接合方法は、ゴムリングによる接合を標準とする。~~

~~２　施工概要~~

~~標準施工フローは、次のとおりとする。~~



~~図2.1　コア式プレストレストコンクリート管設置フロー~~

~~備考　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。~~

~~３　機種の選定~~

~~表3.1　機種の選定~~

~~規格区分~~	~~据付方法~~	~~使用機械~~	
		~~機械名~~	~~規格~~
~~内径　500～　600mm~~	~~機械~~	~~トラッククレーン~~	~~油圧伸縮ジブ型4.9ｔ吊~~
~~〃　700～1,350mm~~	~~〃~~	~~ラフテレーンクレーン~~	~~〃　16~~
~~〃　1,500～1,650mm~~	~~〃~~	~~〃~~	~~〃　20~~
~~〃　1,800mm~~	~~〃~~	~~〃~~	~~〃　25~~
~~〃　2,000mm~~	~~〃~~	~~〃~~	~~〃　35~~

~~備考　現場条件により、上表により難い場合は別途考慮する。~~

~~4　施工歩掛~~

~~表4.1　コア式プレストレストコンクリート管設置歩掛~~

~~（10m当たり）~~

~~内　径（mm）~~	~~世　話　役（人）~~	~~特殊作業員（人）~~	~~普通作業員（人）~~	~~トラッククレーン又はラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料（日）~~	
~~500~~	~~0.2~~	~~0.3~~	~~0.8~~	~~0.2~~	~~1.9t~~
~~600~~	~~0.2~~	~~0.4~~	~~0.8~~	~~0.2~~	
~~700~~	~~0.3~~	~~0.4~~	~~0.9~~	~~0.3~~	~~16t~~
~~800~~	~~0.3~~	~~0.4~~	~~0.9~~	~~0.3~~	
~~900~~	~~0.3~~	~~0.6~~	~~1.0~~	~~0.3~~	
~~1,000~~	~~0.3~~	~~0.6~~	~~1.1~~	~~0.3~~	
~~1,100~~	~~0.3~~	~~0.6~~	~~1.1~~	~~0.3~~	
~~1,200~~	~~0.3~~	~~0.7~~	~~1.4~~	~~0.3~~	
~~1,350~~	~~0.4~~	~~0.7~~	~~1.4~~	~~0.4~~	
~~1,500~~	~~0.4~~	~~0.8~~	~~1.8~~	~~0.4~~	~~20t~~
~~1,650~~	~~0.4~~	~~0.8~~	~~1.9~~	~~0.4~~	
~~1,800~~	~~0.5~~	~~1.1~~	~~2.0~~	~~0.5~~	~~25t~~
~~2,000~~	~~0.5~~	~~1.3~~	~~2.3~~	~~0.5~~	~~35t~~

~~備考1　歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬を含む掘付作業であり、床堀、基礎（均しコンクリート、基礎材）、巻きコンクリート、埋戻しは含まない。~~

~~2　土表は仮設に使用する場合にも適用する。~~

~~3　撤去歩掛は、掘付歩掛の50%とする。（再使用する場合に適用）~~

~~4　トラッククレーン又はラフテレーンクレーンは賃料とし、規格は表3.1にまる。~~

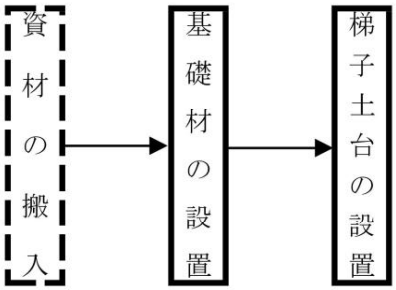
07－01－600　梯子土台設置（SQ0702）

1　適用範囲

本歩掛は、コンクリート２次製品の管渠類における梯子土台設置作業に適用する。

2　施工概要

標準施工フローは、下記のとおりとする。



3　機種の選定

使用する機械の機種・規格は、次表とする。

表3.1　機種の選定

機械名	規格	単位	数量	摘要
バックホウ	排出ガス対策型（第２次基準値）クローラ型 クレーン機能付 山積0.28m3（平積0.2m3）1.7t吊	台	1	

4　施工歩掛

表4.1　梯子土台設置歩掛

（10m当たり）

名　称	規　格	単位	数　量							
			D150～350	D400	D450～600	D700～1,000	D1,100～1,200	D1,350	D1,500	D1,650～1,800
世話役		人	0.32	0.32	0.34	0.35	0.35	0.37	0.35	0.33
型枠工		〃	0.42	0.42	0.43	0.45	0.46	0.47	0.48	0.62
普通作業員		〃	0.32	0.32	0.34	0.45	0.48	0.50	0.57	0.58
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		日	0.32	0.32	0.34	0.35	0.35	0.37	0.35	0.33
横木材	押　角　材	m3								
縦木材	〃	〃								
くさび	角材正割角	〃								
基礎材		〃								
諸雑費		%	5							

備考１　材料費は、加工費も含む。

２　諸雑費は、くぎ、かすがい、ボルトナット等の費用であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を計上する。

３　木材及び基礎材の数量は、別途算出すること。

４　基礎材の補正は行わない。

07－02　コルゲートパイプ据付

07－02－100　コルゲートパイプ据付（参考）（SQ0721）

「20　施工パッケージ　No.~~102~~101　コルゲートパイプ」による。ただし、規格がフランジ型で形式がアーチ形の場合は、下記歩掛を適用すること。

コルゲートパイプ据付歩掛は次表とする。

表1.1　コルゲートパイプ据付（フランジ型）歩掛

（10m当たり）

パイプ径（mm）		250～600		750～900		1000～1200		1300		1500～1600		1800～2200	
型　式		円形	アーチ形	円形	アーチ形	円形	アーチ形	円形	アーチ形	円形	アーチ形	円形	アーチ形
名　称	単位												
普通作業員	人	2.6	1.6	4.1	2.5	4.6	2.8	5.7	3.4	6.2	3.7	9.3	5.6

表1.2　コルゲートパイプ据付（ラップ型）歩掛

（10m当たり）

パイプ径（mm）		2000		2500		3000		3500		4000		4500	
型　式		円形	アーチ形	円形	アーチ形	円形	アーチ形	円形	アーチ形	円形	アーチ形	円形	アーチ形
名　称	単位												
普通作業員	人	14.4	8.6	16.0	9.6	20.6	12.4	25.8	15.5	29.4	17.6	41.2	24.7

備考１　歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬及び組立を含む据付作業であり、床掘、基礎、敷砂、埋戻しは含まない。

２　仮設に使用する場合にも適用できる。

３　撤去歩掛は、据付歩掛の50%とする。

４　規格がフランジ型で形式がアーチ形の歩掛は、コルゲート半円管の水路を布設する場合にも適用できる。

07－05　集水桝設置

「20　施工パッケージ　No.~~95~~96　プレキャスト集水桝」又は、「07－09－100　山腹水路工」　によるものとする。

07－06　ボックスカルバート布設

「20　施工パッケージ　No.~~91~~92　ボックスカルバート」による。

07－07　函渠工(1)

「20　施工パッケージ　No.~~149~~153　函渠」による。

07－08　函渠工(2)

「20　施工パッケージ　No.~~150~~154　コンクリート（場所打函渠)」による。

07－10　木製横断排水溝

07－10－100　木製組立式横断排水溝（SQ0723）

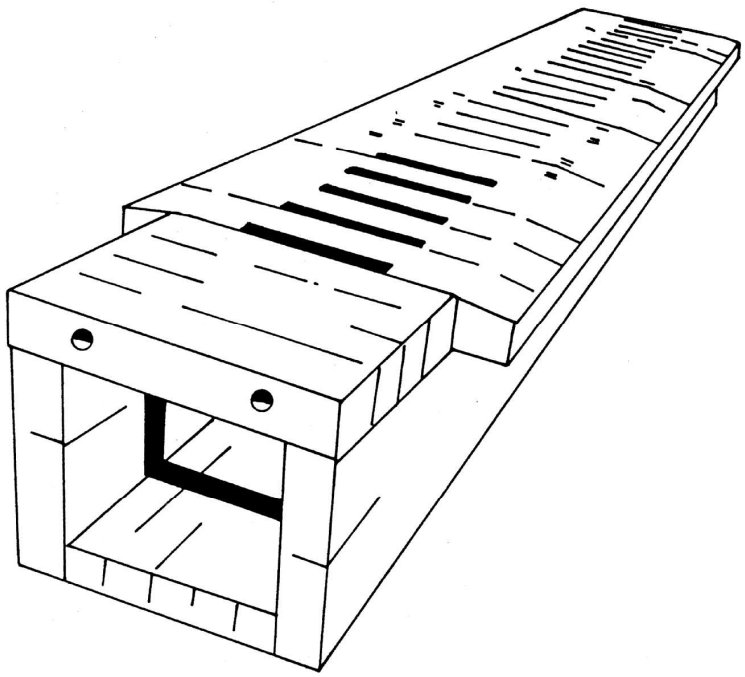
表1.1　木製組立式横断排水溝設置歩掛

（10個当たり）

区分 / 名称	規格	単位	0.48m × 4.00m	0.80m × 4.72m	0.80m × 5.76m
横断排水溝		個	10.00	10.00	10.00
世話役		人	0.17	0.17	0.17
普通作業員	ボルト打込・0.05人/m	〃	2.00	2.36	2.88
〃	ボルト据付・0.12人/m2	〃	2.30	4.53	5.53
〃	小運搬	〃	0.58	0.58	0.58
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9ｔ吊	日	0.80	0.94	1.15

備考１　本表は、30m程度の現場内小運搬を含む標準的な据付作業であり、床掘、基礎（敷コンクリート、基礎材）、埋戻しは含まない。

２　敷砂が必要な場合は、労力費の５％を加算する。



規格
0.48m×4.00m　390kg
0.80m×4.72m　600kg
0.80m×5.76m　720kg

図1.1　木製組立式横断排水溝模式図

07－11　コルゲート水路工

07－11－100　コルゲートフリューム水路布設

「20　施工パッケージ　No.~~103~~102　コルゲートフリューム」又は、「07－09－100　山腹水路工」　によるものとする。

07－13　合成樹脂管等設置

07－13－100　硬質塩化ビニール管等設置

「20　施工パッケージ　No.~~92~~93　暗渠排水管」又は、「07－09－100　山腹水路工」　によるものとする。

07－13－110　フィルター材敷設

「20　施工パッケージ　No.~~93~~94 フィルター材」又は、「07－09－100　山腹水路工」　によるものとする。

07－13－200　合成樹脂Ｕ字溝設置（SQ0708）

表1.1　合成樹脂Ｕ字溝設置歩掛

（10m当たり）

名　　称	単　位	数　　量
普 通 作 業 員	人	0.60
計		

備考１　合成樹脂Ｕ字溝（200～450）の設置に適用する。
　　２　基礎及び土工は別途計上する。

07－14　各種排水材設置

07－14－100　線状・水平排水材設置（SQ0709）

表1.1　線状・水平排水材設置歩掛

（10m当たり）

名　　称	単　位	線状排水材	水平排水材
		数　　量	数　　量
普 通 作 業 員	人	0.03	0.02

備考１　本表には、現場内小運搬が含まれている。
　　２　土砂掘削は、01－02の土工によること。
　　なお、砂利等の充填手間は、07－13－110によること。

07－14－200　発泡スチロール系排水材設置（SQ0710）

表1.1　発泡スチロール系排水材設置歩掛

（100m当たり）

名　　称	単　位	断　面　寸　法　(mm)				
		100×100	150×150	300×300	300×500	300×600
世　話　役	人	0.04	0.10	0.37	0.62	0.74
普 通 作 業 員	〃	0.11	0.27	1.02	1.70	2.04

備考１　材料代金は別途加算すること。また、床均しは必要に応じて計上すること。
　　２　排水材の損耗等は計上しない。
　　３　緊結金具、防水シート等は必要に応じて計上すること。

07－14－300　排水材設置工（水平排水層）

林野庁「治山林道必携（積算・施工編）」８森林整備保全事業標準歩掛の制定について第１編共通工（２）（土留工・擁壁工等）５－２０排水材設置工（水平排水層）による。

(2) 機械運転単価表

機械名	規　　格	指　定　事　項	
クローラ式杭打機	油圧ハンマ・ 直結三点支持式	運転労務数量→1.00　機械損料数量→1.77 燃料消費量→下記のとおりとする。	
		ラム重量	燃料消費量（ℓ／日）
		2ｔ	87
		4～4.5ｔ	129
		6.5～8ｔ	125
		10～12.5ｔ	177
バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型 （第２次基準値） 山積0.28m3（平積0.2m3）	運転労務数量→1.00　機械賃料数量→1.6 燃料消費量→3.5	
クローラクレーン	油圧駆動式ｳｲﾝﾁ・ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型 排出ガス対策型（第２次基準値） 50～55ｔ吊	運転労務数量→1.00　機械損料数量→1.13 燃料消費量→27	

(3) 鋼管杭杭頭処理用機械運転単価表

電気溶接機	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・直流アーク式 ・排出ガス対策型（第~~1~~3次基準値） 最大溶接電流300Ａ	燃料消費量→~~27~~24

08－07　既製杭杭頭処理工

08－07－100　既製杭杭頭処理工

1　適用範囲

鋼管杭の杭頭処理工に適用する。

2　施工歩掛

(1) 鉄筋加工

加工組立費を計上する。

(2) 溶接工

鋼管杭と鉄筋及び鋼管杭とずれ止め及びストッパー等の現場溶接工歩掛は次表とする。

08－07－110　杭頭処理（溶接工）（SQ0801）

表2.1　溶接工歩掛　　（溶接長10m当たり）

~~鋼管杭板厚（mm）~~ 名　称	規　格	単　位	鋼管杭板厚（mm）		
			8～10mm	12mm	14～16mm
溶　接　工		人	0.35	0.68	1.11
電気溶接機	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・直流アーク式・排出ガス対策型（第３次基準値）最大溶接電流 300A	日	0.39	0.65	1.12
諸雑費率		%	14		

備考１　~~電気溶接機はディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型（第１次基準値）最大溶接電流300Ａを標準とする。~~鉄筋加工・組立費は、「市場単価 鉄筋工（太径鉄筋を含む。）」により別途計上する。

２　諸雑費率は、溶接棒の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

３　鋼管杭とずれ止め及びストッパーの溶接長（Ｌｙ）は、ずれ止め１箇所当たり、

Ｌｙ＝π×Ｄ　　Ｄ：杭径（ｍ）を標準とする。

~~４　鉄筋加工・組立費は、「市場単価　鉄筋工（太径鉄筋を含む。）」により別途計上する。~~

(3) 中詰コンクリート打設

「04　コンクリート工」により、躯体コンクリートと同種のコンクリートを計上する。

(4) 鉄筋と溶接脚長

鋼管杭と鉄筋（SD295B）の溶接長を15cmとした場合、鉄筋径と溶接脚長の関係は次表のとおりとなる。

表2.2　溶接脚長

鉄筋径（mm）	16～25	29	32
脚　長（mm）	6	8	10

3　鋼管杭の付属品

鋼管杭の付属品価格等の取扱いは、次のとおりとする。

(1) 付属品価格は、「森林土木事業適用単価表」による。

(2) ずれ止めの管体への溶接は、ずれ止め上側一面の全周すみ肉溶接とする。

(3) 切断された鋼管杭は、スクラップ扱いとする。

(4) 鋼管杭頭部切揃費は、「08－07－200」による。

表3.1　鋼管杭溶接継手金物１箇所当たり質量表

杭径（mm）	400	500	600	700	800	900	1000
質量（kg）	2	3	3	4	4	5	5

備考　鋼管杭溶接継手金物質量は、裏当てリング・ストッパーの質量である。

4　ずれ止め取付（鋼管杭）

表4.1　鋼管杭溶接ずれ止め金物１段当たり数量表

杭　　径（mm）		400	500	600	700	800	900	1000
質量（kg）	杭内面	2	3	3	4	6	6	7
	杭外面	2	3	3	4	6	7	7
溶接延長（m）		1.3	1.6	1.9	2.2	2.5	2.8	3.1
厚　　さ（mm）		9				12		
幅　　（mm）		25						

備考１　鋼管杭溶接ずれ止め金物質量は、ずれ止めの質量である。
　　２　ずれ止め用ストッパーは杭内面３箇所／段当たりに取り付ける。

5　単　価　表

(1) 杭頭処理（溶接工）10m当たり単価表

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	摘　　要
溶　　接　　工		人		表2.1
電　気　溶　接　機	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・直流アーク式・排出ガス対策型（第１次基準値）最大溶接電流300Ａ	日		〃
諸　　雑　　費		式	1	〃

(2) ずれ止め取付（鋼管杭）段当たり単価表

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	摘　　要
ず　れ　止　め		kg		表4.1
ずれ止め用ストッパー		個	3	〃
杭頭処理（溶接工）		m	Ｌｙ	〃

備考１　ずれ止め用ストッパーは杭内面のみ計上する。
　　２　Ｌｙ：鋼管杭とずれ止めストッパーの１段当たり溶接延長（m）

(3) 機械運転単価表

（１日当たり）

名　　称	単　位	電気溶接機（ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・直流アーク式・排出ガス対策型（第~~１~~３次基準値）最大溶接電流300Ａ）	適用機械工歩掛
軽　　油	ℓ	~~22~~24	02－08－260
損　　料	日	1	

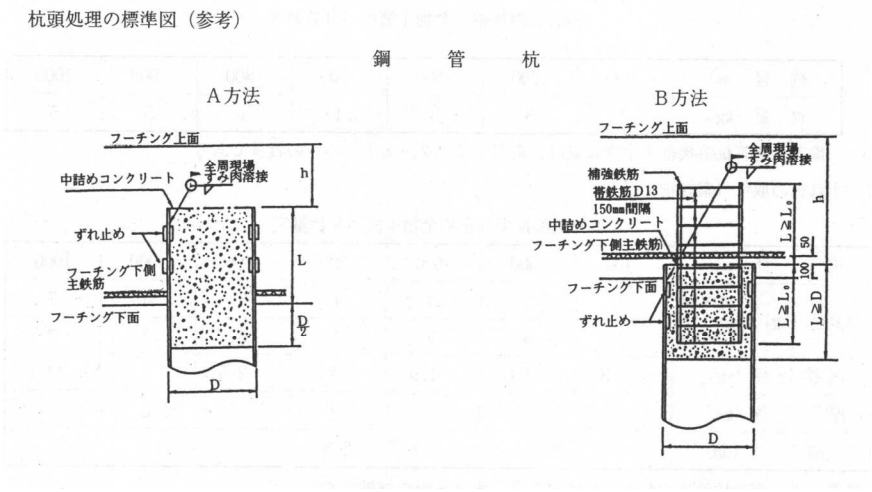


図5.1　杭頭処理の標準図（参考）

表5.14　補正係数（ｆ）　　H形鋼１枚（本）当り２箇所以上継施工を行う場合）

適　用	H形鋼　H250、H300、H350、H400											
最大N値	単独施工 (Nmax＜50)				ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ併用施工 (50≦Nmax＜100)				ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ併用施工 (100≦Nmax≦180)			
継施工箇所数	２箇所	３箇所	４箇所	５箇所	２箇所	３箇所	４箇所	５箇所	２箇所	３箇所	４箇所	５箇所
補正係数	0.66	0.49	0.39	0.33	0.72 (0.69)	0.57 (0.54)	0.48 (0.44)	0.41 (0.37)	0.77	0.63	0.54	0.48

（注）ウォータージェット併用施工における（　）書きは、Nmax＜50の場合で転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

５－３　継施工費

継施工が必要な場合の費用は、次表による。

表5.15　継施工費　　（円/箇所）

鋼矢板・H形鋼型式		継施工費
鋼矢板	Ⅱ型	~~8,160~~8,200
	Ⅲ型	~~8,530~~8,650
	Ⅳ型	~~8,880~~8,970
	ⅤL型	~~12,200~~12,400
	ⅥL型	~~12,500~~12,700
	Ⅱw型	~~9,760~~9,800
	Ⅲw型	~~10,000~~10,100
	Ⅳw型	~~10,600~~10,800
	10H型（ﾊｯﾄ）	~~15,800~~16,000
	25H型（ﾊｯﾄ）	~~16,900~~17,100
	45H型（ﾊｯﾄ）	17,700
	50H型（ﾊｯﾄ）	18,100
H形鋼	H250	~~28,800~~29,400
	H300	~~36,300~~36,900
	H350	~~50,900~~51,700
	H400	~~73,400~~74,500

（注）継施工費に含まれる費用は、次のとおりである。
鋼矢板継施工費：溶接棒費用、補強板材料費、開先加工費、H形鋼継施工費：補強板材料費、接続用ボルト・ナット材料費、H形鋼孔開け加工費

５－４　引抜き作業

鋼矢板、H形鋼の１日当たり引抜き枚数及び本数（N）は次表による。

表5.16　日当たり施工枚（本）数　　（枚（本）/日）

引抜長	施工枚（本）数
２以下	91
４以下	78
６以下	68
９以下	58
12以下	50
15以下	43
19以下	38
23以下	33
25以下	30

（注）１　上表は、広幅鋼矢板（Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw）及びハット形鋼矢板（10H、25H、45H、50H）には適用しない。
２　鋼矢板・H形鋼を鉛直に吊上げた状態で鋼矢板等を切断する場合については、別途計上する。

6　諸　雑　費

諸雑費は、共下がり防止及び導材（ガイド）用の溶接棒及び電気溶接機損料、導材（ガイド）賃料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費（配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モーターポンプ損料、水槽及び配管損料）、陸上部での付属機材等の現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表6.1　諸　雑　費　率　　（%）

施工区分	バイブロハンマ機種・規格		諸雑費率				
			継施工無し		継施工有り		
			普通広幅鋼矢板 H形鋼	ハット形鋼矢板	普通広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	H形鋼
ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ 単独施工 打込み	電動式	60kW	19	16	17	15	17
		90kW	22	18	20	17	20
	油圧式	242kW	1	1	2	2	1
ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ 併用施工 打込み	電動式	60kW	18(22) (注1)	16(19) (注1)	18(21) (注1)	16(19) (注1)	17(20) (注1)
		90kW	20(24) (注1)	18(21) (注1)	20(23) (注1)	17(20) (注1)	19(22) (注1)
	油圧式	242kW	6(7) (注1)	5(6) (注1)	6(7) (注1)	6(6) (注1)	5(6) (注1)
引抜き	電動式	60kW	18 (注2)	－	－	－	－
	油圧式	242kW	0.2 (注2)	－	－	－	－

（注）１　ウォータージェット併用施工・打込みにおける（　）書きは、Nmax＜50の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

２　引抜きの諸雑費率は、広幅鋼矢板には適用しない。

7　単価表

（１）バイブロハンマ杭打機による鋼矢板等の打込み又は引抜き10枚（本）当り単価表

（鋼矢板等打込み、又は引抜き長○○m）

名　　称	規　格	単　位	数　　量	摘　　要
世　話　役		人	$\frac{10}{N}$ ×1	表4.1 表5.1～表5.2、表5.5～表5.6、表5.13、表5.16
と　び　工		〃	$\frac{10}{N}$ ×2(3)	〃 〃
普通作業員		〃	$\frac{10}{N}$ ×1	〃 〃
溶　接　工		〃	$\frac{10}{N}$ ×2	〃　（必要に応じて計上） 〃
バイブロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表3.1、表3.3、表3.5、表3.6 〃
継施工費		箇所	10×x	表5.15　（必要に応じて計上）
諸　雑　費		式	1	表6.1
計				

備考　N：日当たり施工枚数（枚（本）/日）

x：１本当り継施工箇所数（箇所／枚（本））

（　）書き：H形鋼（継施工あり）の場合に適用する。

4　施工歩掛

08－08－510　仮設材設置・撤去工

各工種の施工歩掛は、次表とする。

表4.1　仮設材設置・撤去歩掛（SQ0811、SQ0812、SQ0813）

名　称	規　格	単　位	工種区分 1 切梁・腹起し（10ｔ当たり） 設置	撤去	2 タイロッド・腹起し（10ｔ当たり） 設置	撤去	3 横矢板（10m2当たり） 設置	撤去
世話役		人	1.7(1.0)	1.0(0.5)	4.9	2.2	0.4	0.2
とび工		〃	3.2(1.9)	1.9(1.2)	9.9	4.4	－	－
溶接工		〃	1.7(1.0)	1.0(0.5)	4.9	2.2	－	－
普通作業員		〃	1.7(1.0)	1.0(0.5)	4.9	2.2	1.2	0.6
諸雑費率		%	~~4~~5	~~6~~7	~~8~~10	~~9~~12	－	－
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転	油圧伸縮ジブ型・排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制) 25ｔ吊	日	1.7(1.0)	1.0(0.5)	4.9	2.2	－	－
歩掛算出の施工質量又は施工面積			主部材及び副部材の全質量		タイロッド及び腹起し材の質量		壁面積	

備考１　切梁・腹起しにおいては、加工材を標準とし、中間支柱の施工は含まない。また、火打ちブロックを使用する場合は（　）の値を計上する。

２　タイロッド・腹起しにおいては、中埋土の充填排除は含まない。

３　諸経費は、溶接棒、アセチレンガス、酸素、溶接機損料、溶接機械運転経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。

表4.2　覆工板・覆工板受桁設置・撤去歩掛（SQ0814）

名　称	規　格	単　位	工種区分 4 設置面積700m2以下 覆工板・覆工板受桁（100m2当たり） 設置	撤去	5 設置面積700m2を超える 覆工板（100m2当たり） 設置	撤去	6 覆工板受桁（10ｔ当たり） 設置	撤去
世話役		人	2.9	1.8	0.8	0.5	1.6	1.0
とび工		〃	4.6	2.7	2.5	1.4	1.6	1.0
溶接工		〃	2.1	1.3	－	－	1.6	1.0
普通作業員		〃	5.1	3.2	0.8	0.5	3.2	2.0
諸雑費率		%	~~3~~4	~~4~~6	－	－	~~5~~6	~~6~~8
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転	油圧伸縮ジブ型・排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制) 25ｔ吊	日	2.9	1.8	0.8	0.5	1.6	1.0
歩掛算出の施工質量又は施工面積			覆工板の面積		覆工板の面積		覆工板受桁の質量	

備考１　工種区分「４」は覆工板及び受桁、桁受の設置撤去の歩掛が含まれており、１工事当たりの覆工板設置面積700m2以下に適用する。覆工板面積が700m2を超える場合は、工種区分「５」及び「６」を適用する。

２　覆工板においては、据置式（はめ込み式）の加工材を標準とし、路面のすり付け作業は含まない。

３　覆工板受桁においては、加工材を標準とする。

４　覆工板受桁用桁受においては、備考３に準じ加圧材を標準とする。なお、歩掛算出については、覆工板受桁の質量と覆工板受桁用桁受の質量を含めて算出する。

５　諸経費は、溶接棒、アセチレンガス、酸素、溶接機損料、溶接機械運転経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。